【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第２部門第４区分
【発行日】平成21年4月2日(2009.4.2)

【公開番号】特開2007-45145(P2007-45145A)
【公開日】平成19年2月22日(2007.2.22)
【年通号数】公開・登録公報2007-007
【出願番号】特願2006-170206(P2006-170206)
【国際特許分類】
Ｂ３２Ｂ　27/32　　(2006.01)
【ＦＩ】
Ｂ３２Ｂ　27/32　　Ｄ

【手続補正書】
【提出日】平成21年2月13日(2009.2.13)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】請求項３４
【補正方法】変更
【補正の内容】
【請求項３４】
内部破損機構を含む多層共押出しフィルム構造体であって、
ａ）該多層共押出しフィルム構造体の総厚の約１％～約１０％からなり、かつポリマーシーラント材料から形成される第１層であって、０．２５ミルの最大厚さを有し、かつ、該第１層の平均厚さに基づいて約２０％未満の厚み均一性偏差を有する第１層と、
ｂ）第１層に隣接して共押出しされる第２層であって、ポリエチレン、ＥＶＡ、イオノマー、粘着性材料及びそれらのブレンドからなる群から選択される第１ポリマー成分と、ポリブチレン、ポリプロピレン、高密度ポリエチレン及びそれらのブレンドからなる群から選択される第２ポリマー成分とを含み、かつ、約０．５ミルの最大厚さを有する第２層と、
ｃ）第１層とは反対側の第２層に隣接して共押出しされる第３層であって、エチレン、アクリル酸メチル、アクリル酸エチル、アクリル酸ｎ－ブチルの変性又は未変性ホモポリマー又はコポリマー、エチレン－酢酸ビニル、エチレン酢酸ビニルコポリマー、エチレン－α－オレフィン及びそれらのブレンドからなる群から選択される要素を含む第３層と、
ｄ）第２層とは反対側の第３層に隣接して共押出しされる第４層であって、粘着性材料及びポリオレフィンからなる群から選択される要素を含む第４層と、
ｅ）第３層とは反対側の第４層に隣接して共押出しされる第５層であって、ナイロン４，６（ポリ（テトラメチレンアジパミド））、ナイロン６（ポリカプロラクタム)、ナイロン６，６（ポリ（ヘキサメチレンアジパミド））、ナイロン６，９（ポリ（ヘキサメチレンノナンジアミド））、ナイロン６，１０（ポリ（ヘキサメチレンセバカミド））、ナイロン６，１２（ポリ（ヘキサメチレンドデカンジアミド））、ナイロン６／１２（ポリ（カプロラクタム－コ－ドデカンジアミド））、ナイロン６，６／６（ポリ（ヘキサメチレンアジパミド－コ－カプロラクタム））、ナイロン１１（ポリウンデカノラクタム）、ナイロン１２（ポリラウリルラクタム）及びそれらのアロイ又は混合物からなる群から選択されるナイロンを含む第５層と、
ｆ）第４層とは反対側の第５層に隣接して共押出しされる第６層であって、粘着性材料及び酸素ガスバリア材料からなる群から選択される要素を含む第６層と、
ｇ）第５層とは反対側の第６層に隣接した共押出しされる第７層であって、ナイロン４，６（ポリ（テトラメチレンアジパミド））、ナイロン６（ポリカプロラクタム）、ナイロン６，６（ポリ（ヘキサメチレンアジパミド））、ナイロン６，９（ポリ（ヘキサメチ

レンノナンジアミド））、ナイロン６，１０（ポリ（ヘキサメチレンセバカミド））、ナイロン６，１２（ポリ（ヘキサメチレンドデカンジアミド））、ナイロン６／１２（ポリ（カプロラクタム－コ－ドデカンジアミド））、ナイロン６，６／６（ポリ（ヘキサメチレンアジパミド－コ－カプロラクタム））、ナイロン１１（ポリウンデカノラクタム）、ナイロン１２（ポリラウリルラクタム）及びそれらのアロイ又は混合物からなる群から選択されるナイロンを含む第７層と、

ｈ）第６層とは反対側の第７層に隣接して共押出しされる第８層であって、エチレン、アクリル酸メチル、アクリル酸エチル、アクリル酸n－ブチル、エチレン酢酸ビニル、エチレン酢酸ビニルコポリマー、エチレン－α－オレフィンの変性及び未変性ホモポリマーもしくはコポリマー、及びそれらのブレンドからなる群から選択される粘着剤を含む第８層と、

ｉ）第７層とは反対側の第８層に隣接して共押出しされる第９層であって、ポリエチレン、ポリプロピレン、ポリエステル、ナイロン及びそれらのブレンド及びコポリマーからなる群から選択される要素を含む第９層とを含み、

該多層共押出しフィルム構造体は、約２ミル～約１５ミルの総厚を有し、かつＡＳＴＭＤ－２７３２－９６試験法に従う測定で、９０℃で機械方向に約５％未満でかつ９０℃で横方向に約５％未満の熱収縮値を有する多層共押出しフィルム構造体。

【手続補正２】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】請求項３５
【補正方法】変更
【補正の内容】
【請求項３５】

前記第１層は、該フィルムの外側面総であり、約０．１５ミル未満の厚さを有する請求項３４に従う多層共押出しフィルム構造体。